



Kiwi Report

第5号 2019/11/11

11月8日（金） ◆登校

登校5日目となります。行程のちょうど中間くらいでしょうか。ホストやバディともどんどん交流できるようになっているみたいです。昨日までとは違い、良い天気となり気温も25度を超えました。「昨日がこんな天気だったらよかったのに…」と生徒たちは嘆いていました。

昨日、一昨日と外に出かけていましたが、きょうは1日学校にいました。そして、夜には少し早めのさよならパーティが行われました。

朝の集合場所の図書館では、森谷くんがカカポの本を見つけ、早速借りていました。

◆授業の様子

最初の授業はESOLです。羊飼いのことやこの数日間で体験したことを英語で整理しました。体験したことの詳しい内容をロジャー先生から聞き、ニュージーランドに対する理解も深まりました。

次は、7年生の授業に参加し、日本の遊びを紹介します。福笑い、お手玉、折り紙、ダルマ落とし、けん玉にそれぞれ分かれ、子どもたちと交流をしました。どの遊びも子ども達の反応は良く、はしゃぐ姿に生徒たちも喜んでいました。折り紙はすごく上手な子がいて、湧別町の生徒が逆に教えてもらうという場面もありました…笑



その後は、マオリの授業です。ウィッキー先生にマオリの踊りについて教えてもらいました。踊りに使うポイという道具と一緒に作り、そのポイを使ってYouTubeの映像を見ながら皆で踊りました。1時間の授業では時間が足りず、昼食後にバディにも手伝ってもらいながら完成させました。テリーナやハイデンのおかげで久保さんのポイは特に上手くできていました。

昼食前の最後の授業は、バディの授業に参加しました。数学やフランス語の授業を受けたようですが、授業の内容よりも英語に苦戦しているようでした。

下校前の最後の1時間は、さよならパーティのための準備の時間でした。ホストファミリーへの感謝の言葉を木幡校長先生に確認してもらったり、よさこいの練習を行いました。

通常では下校の時間となりますが、何名かの生徒は下校せずに、ダーフィールドの町を散策する生徒もいました。ベーカリーでミートパイを食べたり、公園で遊んだりしたようです。



マオリの授業で、ポイを作って、踊りも習いました。

◆さよならパーティ

18時30分からはスタッフルームでのさよならパーティです。月曜日が最後の登校となります。校長先生が不在になるため、少し早めのパーティになりました。

さよならパーティにはジェームス校長、すみ先生をはじめとする国際交流部の先生方やスタッフ、そしてホストファミリーが参加しました。席には、湧別町のインスタグラムのチラシも置き、町の紹介をさせてもらいました。

まずは、ディナータイムです。ホストファミリーごとに席に着き、各家庭から持ち寄った料理やデザートをビュッフェ形式で楽しみました。

食事の後には、ジェームス校長から修了証書と記念品が手渡され、生徒からホストファミリーに対するお礼の言葉を述べました。それぞれ、きちんと英語で感謝の気持ちを伝えることができ、参加者全員が温かな気持ちになる時間となりました。

訪問団を代表して、尾山団長から学校やホストに感謝の言葉を述べた後、パワーポイントによる日本のお気に入りの文化を紹介しました。皆、大きな声で発表できました。

そして、何度も練習してきた「よさこい」の発表です。表敬訪問での出来がイマイチだっ



たので、今回の発表に向けてそれぞれが練習してきました。結果は、今までで一番となる最高の出来となりました。参加者からは「アーメージング」の声も！拍手喝采となりました。生徒たちからは、やり遂げた安堵の表情が窺えました。

最後は、参加者全員で集合写真を撮影しました。

明日からは、週末になります。それぞれホストファミリーとの貴重な時間を過ごすことでしよう！



ホストファミリーと

